



インタラクティブ ハンドブック インタラクティブの手引き

Interact 

インターアクトハンドブック

インターアクターの手引き

このハンドブックは、インターアクトクラブの結成や参加に関心のある青少年を対象としており、以下の方法を学ぶことができます。

- ▶ インターアクトクラブを結成する
- ▶ 活発なクラブをつくり、すべての会員が有意義な奉仕活動やリーダーシップ養成活動に参加できるようにする
- ▶ クラブの活動を地域社会や世界中のロータリーの仲間に紹介する



鉛筆マークのついたコーナーには、考えるためのヒントとなる質問とメモ欄があります。この欄を利用して考えを整理し、クラブの目標に向けて何ができるかを考えてみましょう。

わからないことがある場合やサポートが必要な場合は、アドバイザーやスポンサークラブに相談してください。インターアクトに関する質問は、interact@rotary.orgまでお寄せください。

このガイドの内容は[ロータリー章典](#)に基づいています。国際ロータリー理事会による変更は、本手引きに掲載された方針に優先します。



目次

第1章 インターアクトとは？ 4	第2章 インターアクトクラブの結成 6	第3章 安全とインクルージョン 10
第4章 クラブの土台づくり 16	第5章 クラブでの体験を充実させる 24	第6章 クラブの広報 29
第7章 ロータリーからの支援 32	第8章 インターアクトを超えて 36	第9章 ロータリーのリソース 38
補遺1 クラブ認定証伝達式の例 40	補遺2 目標設定に役立つ質問 41	補遺3 インターアクトクラブ対象の ロータリー賞 42
補遺4 クラブの具体的な目標 45	補遺5 例会の議題の見本 46	

第1章

インターアクトとは？

インターアクトは、社会貢献やボランティア活動に関心のある12歳～18歳の青少年を対象とした奉仕クラブで、地域社会や世界、また自分自身について学び、楽しみながら活動できます。インターアクトクラブは、学校や地域社会を支援するプロジェクト1件と、国際理解を促進するプロジェクト1件を含む、毎年2件以上のプロジェクトを実施することが求められます。



インターアクトに参加するメリット

インターアクトの活動は、会員自身や地域社会、ひいては世界にインパクトをもたらしています。インターアクトクラブに入会する理由や結成する理由はさまざまですが、そのごく一部を以下にご紹介します。

リーダーシップを発揮できる。クラブの仲間と協力して、独自のクラブ活動を進めることができます。奉仕プロジェクトからリーダーシップ育成、交流活動まで、会員の関心や地域社会のニーズに合わせて自由に活動を企画・実施することになります。このプロセスを通じて、生涯に役立つリーダーシップスキルや組織力が身につきます。

奉仕の価値を学ぶ。クラブの奉仕プロジェクトにより、持続可能な真の変化が生まれます。奉仕活動の成果を自分の目で確認し、ロータリーの会員やボランティアが世界でもたらしている大きなインパクトを理解できるでしょう。

世界市民になる。インターアクトクラブへの入会は、国際的なコミュニティの一員となることを意味します。世界中の若者とつながり、国際的な出来事に関する理解を深め、新しい友情を育むことができます。



大きな存在の一部になる

インターアクトクラブに入会すると、ロータリーという大きなネットワークの一部となります。ロータリークラブとロータリーインターアクトクラブでは、世界140万人以上の会員が活動し、世界各地に持続的な変化をもたらしています。インターアクトの基盤も国際的であり、世界に30万人以上の会員がいます。会員はみな、あなたと同じように地域社会や世界のために活動しています。

インターアクト、ロータリーインターアクト、ロータリークラブから成るこのネットワークを通じて、世界中の人たちとアイデアや情報を交換することができます。このようなつながりを育むために、インターアクトクラブ結成においては地元のロータリークラブにスポンサーになってもらう必要があります。スポンサークラブは、若いリーダー向けのロータリーのほかのプログラムについて説明し、地区のほかのクラブとの橋渡しを行い、地区での研修や奉仕活動に参加できるようサポートしてくれます。また、スポンサークラブの会員が新インターアクトクラブのメンターとなります。

役立つ情報

ロータリーのほかの青少年プログラムにも参加すれば、リーダーシップスキルを身につけ、世界市民としてもっと成長できるでしょう。

ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA) と **ロータリー青少年交換** の情報をご覧ください。



リーダーシップ、奉仕、人やほかの国について学ぶこと、友人を作ることなど、インターアクトクラブのどのような点に興味がありますか？インターアクトクラブにどのような印象を持っていますか？

また、新しいインターアクトクラブに対しては、アドバイザー（顧問）がついて指導を行います。アドバイザーの名前は、My ROTARY（会員用ポータルサイト）から毎年**国際ロータリーに報告する**必要があります。アドバイザーはクラブを支援し、質問に答え、ロータリーの**青少年保護方針**が守られるようにします。アドバイザーの役割については、このハンドブックで詳しく説明されています。



ロータリーの設立

国際ロータリーは、ある一人のビジョンから始まりました。その人の名はポール・ハリス。米国イリノイ州シカゴで弁護士として働いていたハリスは、1905年にシカゴ・ロータリークラブを設立しました。さまざまな経歴の職業人が集まって知恵を寄せ合い、生涯の友情を培うことのできる場を実現したのです。ロータリーは徐々に人道的奉仕にも活動を広げ、今では、さまざまな職業や文化を持つロータリー会員が、草の根の奉仕活動や国際的な取り組みを行っています。

青少年への支援は常に、ロータリーの活動の重要な部分を占めてきました。1950年代後半になると、ロータリー会員たちは、ロータリー全体のプログラムを通じて青少年支援活動を充実させる方法を模索するようになりました。数年間の検討を経て、1959-60年度国際ロータリー会長ハロルド・トーマスの指揮の下、ロータリーはインターアクトプログラムの計画を承認しました。

1962年11月、米国フロリダ州のメルボルン高校の生徒たちが、ロータリー会員の支援の下で初のインターアクトクラブを結成。「インターアクト」という名称は、「インターナショナル」と「アクション」を組み合わせせたものです。

役立つ情報

歴史に関心がありますか？ロータリーの歴史資料室（アーカイブ）には数万点もの写真、記録、出版物、所蔵物が保存されています。ロータリーの歴史やコレクションについては rotary.org/ja/history をご覧ください。

第2章

インターアクトクラブの結成

奉仕活動をしたいという熱意はあるものの、地元インターアクトクラブがない場合はどうすればよいでしょうか。インターアクトクラブはわずか七つのステップで結成できます。

1 スポンサークラブとアドバイザーを見つける

まず、インターアクトクラブを支援してくれるロータリークラブを見つける必要があります。このロータリークラブが「スポンサークラブ」（「提唱クラブ」とも呼ばれる）となります。スポンサークラブは、ロータリーの巨大なネットワークとのつながりを保ち、インターアクトクラブのメンターとなり、ロータリーでの奉仕とリーダーシップ育成の機会を紹介してくれます。スポンサークラブを見つけるために、まずは地元のロータリークラブに問い合わせ、インターアクトクラブを結成したい理由を説明しましょう。スポンサークラブが見つければ、そのクラブの会員から、インターアクトクラブ結成プロセス全般についてアドバイスしてもらうことができます。

どのロータリークラブに連絡を取ればよいかわからない場合、My ROTARY（会員用ポータルサイト）の「[クラブ検索](#)」をご利用ください。

また、新クラブのアドバイザー（顧問）を見つける必要もあります。アドバイザーになることができるのは、スポンサークラブ（ロータリークラブまたはローターアクトクラブ）の会員、あるいは教員、保護者、地元のボランティアです。アドバイザーはクラブの活動を監督し、スポンサークラブや国際ロータリーと連絡を取り合い、ロータリーの[青少年保護方針](#)が守られるようにします。学校を基盤とするクラブの場合、学校の方針によっては、教員か学校管理者がアドバイザー（顧問）となります。

アドバイザーとスポンサークラブについては、第7章で詳しく説明します。

2 クラブをカスタマイズする

次に、自分たちにとって最適な種類のクラブを選択する必要があります。以下は検討すべきポイントです：

クラブの基盤

新しいインターアクトクラブの基盤を学校とするか地域社会とするかを決めます。学校を基盤とするクラブの場合、会員はその学校の生徒のみとなります。結成するには学校による承認が必要です。また、学校の方針によっては、教員か学校管理者がアドバイザー（顧問）になる必要があります。

地域社会を基盤とするクラブの場合、複数の学校や地域から会員を募ることができます。

役立つ情報

複数のスポンサークラブから支援や助言を得たい場合、最多で三つのロータリークラブまたはローターアクトクラブが共同スポンサークラブになることができます（少なくとも一つはロータリークラブである必要があります）。共同スポンサークラブは、インターアクトクラブを支援する責務を共有します。複数のスポンサークラブがいることで、インターアクトクラブはロータリーとのつながりを増やすことができます。

国際ロータリーに報告するアドバイザーは1名のみですが、複数のアドバイザーがいれば、多様な視点でアドバイスを受けたり、さまざまなスキルや知識を学ぶことができます。

役立つ情報

オンラインの例会を選択した場合、アドバイザーと協力しながら、安全なオンラインツールを選ぶことがとても重要です。学校を基盤とするインターアクトクラブの場合、スポンサークラブは学校のインターネット／通信に関する方針に従うことが推奨されています。

年齢層

インターアクトは12～18歳を対象としていますが、クラブの対象年齢をさらに絞ることもできます。対象年齢を絞ることで、会員のニーズや関心に対応しやすくなります（地域社会を基盤とするクラブの場合は入会候補者数が多くなるため、特に効果的です）。

学校を基盤とするクラブの場合、インターアクトのようなクラブ活動について学校の方針を必ず確認してください。あらゆる年齢の生徒の入会が方針で認められている場合、インターアクトクラブに12歳未満または19歳以上の生徒を入会させることもできます。また、学校を基盤とするインターアクト会員は、年齢にかかわらず、卒業するまで会員であり続けることができます。

例会の形式

例会の形式は、対面式、オンライン、またはそれらを組み合わせることができます。どの形式がよいか、会員からの意見を集めましょう。対面式の例会にする場合、誰もが行きやすい場所を選びましょう。例えば、勉強やスポーツ、交流のために多くの会員が集まる場所などがあります。



クラブの拠点はどこですか？
クラブの年齢層をどのように設定しますか？
例会の形式はどうしますか？

3 会員を募集する

入会候補者にインターアクトクラブについて説明し、詳しい情報を得る方法を紹介するための資料を作成しましょう。学校を基盤とするクラブの場合、学校周辺にチラシを掲示したり、入会を促進するために教員と協力したりできます。地域社会を基盤とするクラブの場合、青少年センターなど地元の人が集まる場所に資料を掲示したり、ソーシャルメディア用コンテンツを作成して投稿したりすれば、多くの人に見てもらうことができます。もちろん、友人にも入会を勧めましょう。新会員を募る方法については、第6章で詳しく説明します。



入会候補者をどこで見つけ、クラブの情報をどのように広めますか？

役立つ情報

ロータリー章典にはロータリーの全般的かつ恒久的な方針がすべて記載されています。インターアクトに関する情報は第41.010節を参照してください。

クラブ「定款」と「細則」って何？

どんなグループでも、運営方法について一連のルールを決めておくことで役立ちます。これはインターアクトクラブでも同じです。「クラブ定款」は、世界のすべてのインターアクトクラブに適用される基本的な指針です。「クラブ細則」には、クラブ独自のニーズや地元の慣習に基づく運営ルールを追加できます。細則に項目を加えることはできますが、標準インターアクトクラブ定款と矛盾しない内容にすることが大切です。

4 クラブの運営方法を決める

標準インターアクトクラブ定款を確認し、クラブの情報を記入してください。この定款には、会員資格、スポンサーシップ、例会の構成などに関する重要な方針が含まれています。クラブに入会する人は、定款に記載されている方針を守る必要があります。

また、クラブがある程度の入会者を確保したら、**推奨インターアクトクラブ細則**を採択できます。採択したクラブ細則は標準インターアクトクラブ定款を補完し、クラブでの慣習を定めるものとなります。この細則は、会員同士で話し合っただけでクラブのニーズに合うようカスタマイズできます。ただし、定款および**ロータリー章典**と矛盾する内容にならないようにしてください。



次の文書を読んだら、リストにチェックを入れてください。

- 標準インターアクトクラブ定款
- 推奨インターアクトクラブ細則
- ロータリー章典

クラブにどのような細則を追加しようと考えていますか？

5 理事会メンバーを選ぶ

クラブはこの時点で、細則で定めた指針に沿って理事会選挙を行うことができます。各インターアクトクラブでは、会長、副会長、幹事、会計を選び、それらの役割と責務を細則で定めておくことが重要です。クラブ役員の責務については、第4章で詳しく説明します。

クラブは必要に応じて役員を追加できますが、その場合はスポンサークラブからの承認が必須です。

6 正式に発足する

これで、新しいインターアクトクラブを正式に発足する準備が整いました。アドバイザーと協力して、[インターアクトクラブ認定フォーム](#)に記入しましょう。

記入後、保存またはスキャンしたファイルをEメール (interact@rotary.org) で送信するか、[日本事務局](#)宛てにEメール、ファクス、郵便のいずれかで送付してください。

インターアクトクラブの結成料はかかりません。事務局がフォームを受理後、クラブ結成認定状の発行までに4～6週間かかります。認定状は国際ロータリーからスポンサークラブの会長にEメールで送付され、会長の署名後にインターアクトクラブに贈呈されます。

役立つ情報

正式な認定状が届く前にクラブの活動を始めてもかまいません。早速例会を開き、計画を立てて活動を開始しましょう。

7 達成を祝う

認定状が届いたら、クラブの正式な結成をお祝いするイベントを計画しましょう。結成式、新会員の入会式、役員就任式の開催に決まったやり方はありませんので、自由な発想で行ってください。地区のロータリーの伝統や地元の慣習を組み合わせ、工夫を凝らした祝賀会を開催しましょう。[補遺1](#)の式典の例も参考になります。

第3章

安全とインクルージョン

インターアクトクラブでは、楽しみながら、新しい人びとと出会い、生涯役立つスキルを身につけることができます。これは、私たち全員が安全で快適、かつインクルーシブ（包括的）なクラブづくりを行うことで実現します。

この章では、成人のアドバイザー、スポンサークラブ、メンターの役割について説明します。また、クラブで安全な環境を築くためのステップも紹介します。

アドバイザー、スポンサークラブ、メンターの役割

アドバイザーとスポンサークラブは、インターアクトクラブの全会員にとって安全な環境をつくり、維持する責任を担います。また、身体的、性的、心理的な虐待やハラスメントからインターアクターを保護する役割も担います。

ロータリーは、アドバイザーやスポンサー、地区リーダーがロータリーの青少年保護方針を徹底できるように、以下のような関連資料や情報を提供しています。

- ▶ [ロータリー青少年保護の手引き](#)
- ▶ [青少年プログラム参加者の保護（オンラインコース）](#)
- ▶ [電子的方法／インターネットの使用に関する安全上の検討事項](#)
- ▶ [危機管理計画の策定](#)
- ▶ [ロータリー章典の第2.120.節](#)



安全実現のために果たすべき役割

アドバイザーは、インターアクトクラブがロータリーの青少年保護方針を守るように監督する責任を担っていますが、インターアクトクラブ会員自身にも、仲間のために安全な環境をつくる責任があります。

安全な環境は、誰もが自分の言動に責任を持ち、ほかの人にも同じ基準を求めるといった責任ある文化から生まれます。ロータリーの基本理念の一つに「四つのテスト」があり、これには、私たちが考え、言動をとる際に考えるべき以下の四つが含まれています。

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

この「四つのテスト」に沿って、すべての人に対する安全、礼儀、尊厳、尊重を重んじるクラブの環境づくりを行いましょう。

青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての青少年のために安全な環境をつくり、これを維持するよう努めています。ロータリーの会員、そのパートナー、その他のボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは心理的な虐待から身の安全を守るため、最善を尽くさなければなりません。

安全で快適な環境づくりのために、このほかにもできることをいくつか紹介します。

- ▶ 「四つのテスト」の原則を基に、クラブ独自の行動規範を作成する：これには、身体的接触、言葉によるやり取り、Eメールやインターネットでのやり取りを含め、容認される行為と容認されない行為に関する明確な約束事項を盛り込みます。詳しくは、[ロータリー青少年保護の手引き](#)の第4章をご覧ください。
- ▶ クラブでは敬意を欠く行為は許されず、互いを尊重する環境づくりは全会員の責務であることを明確に説明します。
- ▶ 敬意を欠く行為があった場合には、無視せずに、アドバイザー、スポンサークラブ、または地区リーダーに報告できるよう会員をサポートしましょう。



行動規範の例

インターアクターとして、私は

ロータリーの青少年保護方針に従います

人種、民族、性的指向、背景にかかわらず、他者に敬意を持って接します

会員が身体的、言語的、性的ハラスメントや虐待の危険を感じることはない環境を作ります



インターアクターとして、私は

役立つ情報

ロータリーの地区リーダーも、インターアクト会員にとっての安全な環境づくりに取り組んでいます。地区ガバナーと地区青少年保護役員は、クラブが法律や慣習を反映させて独自の青少年保護方針を追加したり、研修や資料作成を行ったりするのを支援します。



青少年保護に関する懸念を報告する

たとえ明確なルールがあっても、虐待などの不適切な行為はどんな団体やプログラムでも起こる可能性があります。自分自身やほかの会員の安全を脅かすようなことが起こった場合、または安全に関する懸念がある場合は、次のように対応してください。

- ▶ **信頼できる大人に相談する。** 親、保護者、アドバイザー、スポンサークラブ、メンター、または地区リーダーに相談しましょう。いつ、どのようなことが起こり、誰が関わっていたのかを詳しく説明してください。
- ▶ **オンラインで報告する。** 大人に話すことに抵抗がある場合、または匿名で報告したい場合には、国際ロータリーのオンラインの**青少年保護に関する報告フォーム**を利用できます（右上の言語メニューから日本語を選択できます）。青少年保護に関する懸念を報告するためのリンクは、rotary.org/ja/youthprotectionにもあります。

ロータリーの方針では、青少年への性的虐待またはハラスメントに関するすべての申し立ては、地元警察に報告することが義務付けられています。

青少年プログラム参加者とすべての青少年の安全と福利はロータリーの最優先事項であり、ロータリーは青少年保護に関するすべての懸念を真剣に受け止めます。自分自身やほかの会員を守る方法について疑問や懸念がある場合は、**青少年保護のページ**を確認するか、youthprotection@rotary.orgまでご連絡ください。



オンラインの安全性

第2章で述べたように、クラブはバーチャル形式の例会を行うこともできます。オンラインで例会を行う場合、アドバイザーに相談しながら使用するオンラインツールの安全機能を確認しましょう。クラブの会員間だけでなく、会員と大人との間のオンラインのコミュニケーションに関するガイドラインを、アドバイザーに提供してもらってください。

ソーシャルメディアも、ほかの人とつながって情報を共有できる便利な手段となります。ただし、ソーシャルメディアを利用するときは以下のことに注意してください。

- ▶ 会員の写真や個人情報を本人とその親・保護者の許可なしに投稿することは絶対にしないでください。
- ▶ クラブの公式ソーシャルメディアページで、会員をタグ付けしたり、会員のユーザー名やハンドルネームを共有したりすることは絶対にしないでください。これを行うと、自分やほかの会員の個人情報、会員の関心やよく行く場所などが多くの人の目にとまり、他人や望まれない人から連絡を受けることになりかねません。



インクルーシブなクラブづくり

私たちは、ロータリーのあらゆる活動において、多様性、公平さ、インクルージョン（DEI）を受容し、行動で示すべきだと信じています。以下の原則は、活気ある快適なクラブづくりのカギとなります。

多様性・公平さ・ インクルージョンへの ロータリーのコミットメント



ロータリーで私たちは、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界というビジョンの実現には、多様性があり、公平で、インクルーシブ（包摂的）な文化を培うことが不可欠であると理解しています。

私たちは多様性を重んじ、すべての背景、年齢、民族、人種、肌の色、障害、学習スタイル、宗教、信条、社会経済的立場、文化、婚姻状況、使用言語、性別、性的指向、ジェンダー自認だけでなく、異なるアイデア、考え、価値観、信念を持つ人びとによる貢献を大切にします。

ロータリーへの入会、参加、リーダーシップの機会といった面で、歴史的に特定のグループの人びとが障壁に直面していたという点を認識し、すべての人が成功のためのリソース、機会、ネットワーク、支援への必要なアクセスを得られるよう、地域社会でのパートナーシップも含め、ロータリーのあらゆる側面で公平さを促進していくことに私たちは全力を注ぎます。

私たちは、すべての人が目に見える、または目に見えない本質的に独自の資質を備えていると信じています。また、自分が大切にされているとすべての人が感じ、帰属意識を持てるようなインクルーシブな文化を築くことに尽力します。

高潔性というロータリーの価値観に従い、DEI（多様性、公平さ、インクルージョン）にいたる旅路において組織として自分たちがどこにいるのかを正直かつ透明性をもって見据えるとともに、これからも学び、向上し続けていくことに全力を尽くします。

平等



公平



「多様性、公平さ、インクルージョン (DEI)」とは何か？

- ▶ 多様性 (Diversity) = 集団の中にさまざまなアイデンティティや特徴を持つ人が存在すること
- ▶ 公平さ (Equity) = 人びとが公平に扱われること（「平等」とは違う）
- ▶ インクルージョン (Inclusion) = 誰もが存在を認められ、意見を尊重され、自分に影響する決定に参加する機会を持つこと

インターアクトクラブは、独自のDEI声明を作成することが奨励されています。現在と将来の会員にとってインクルーシブなクラブとなるよう、クラブの全会員が同意できる声明を協力して作成しましょう。

DEI声明を作成する際に考慮すべきポイントを以下にご紹介します。

- ▶ 入会者の受け入れや会員の紹介：
 - 誰をも歓迎するインクルーシブな雰囲気をつくるようにし、会員を紹介する際には、その人の個性やアイデンティティを尊重し、言葉づかいに気を付けます。
 - 自身にとって「多様性、公平さ、インクルージョン」が何を意味するかを会員に尋ね、クラブのDEI声明作成に貢献してもらいます。
- ▶ リフレクション (内省)：
 - 例会でDEIについてじっくりと話し合う時間を設けます。クラブが起草したDEI声明を会員に読んでもらい、クラブがDEIを後押しするために何ができるかを一緒に考えてもらいましょう。
- ▶ フィードバック：
 - 会員から毎年フィードバック (意見や感想) を集めるための計画を立てます。寄せられたフィードバックに基づいて、クラブのDEI声明と現実との隔たりがあるかどうかを確認し、次年度に向けて方針を追加または変更すべきかどうかを検討します。変更を加える前に、全会員が同意していることを確かめ、クラブ定款とクラブ細則も確認することが大切です。
- ▶ 会員募集：
 - ジェンダーや年齢、地域 (地域社会基盤の場合) など、クラブにまだいない会員や少ない会員を特定し、そのような候補者を募る方法を考えましょう。
 - 入会のプロセスは、誰にとっても公平あり、偏見のないものである必要があります。
- ▶ 奉仕プロジェクト：
 - すべての会員が参加可能な奉仕プロジェクトを計画します。
 - また、奉仕プロジェクトで取り組む問題やトピックに対し、全会員に抵抗感がないことを確かめましょう。
- ▶ 研修：
 - 新会員のためのオリエンテーションなど、クラブが実施するすべての研修は、DEIを土台としたものにします。

交流活動：

- 身体的、認知的、文化的なニーズなどを考慮し、誰もが平等に参加できるインクルーシブな交流活動を企画します。
- 交流活動の内容によっては、抵抗を感じる人や参加できない人がいることにも留意してください。そのような懸念がある場合、その交流行事は自由参加とし、ほかの交流の機会を設けることも検討しましょう。

会場：

- 奉仕プロジェクト、研修、交流活動、例会など、どのような集まりであっても、すべての参加者が利用しやすい会場を選びましょう。



より多様かつ公平でインクルーシブな環境を作るために、クラブができることを三つ挙げてください。DEI声明についての考えを記入してください。

第4章

クラブの土台づくり

奉仕プロジェクトなどの活動をすぐにでも始めたいと気持ちがはやるかもしれませんが、しかし、じっくりと時間をかけて組織づくりを行うことで、クラブを成功に導くことができます。この章では、クラブの組織づくり、細則の作成、リーダーとなる会員の選出、委員会の設置、会員の募集と維持について詳しく説明します。



定款と細則

クラブの定款と細則は、クラブの運営と構成の指針となるものです。すべてのインターアクトクラブは、**標準インターアクトクラブ定款**をそのまま採用する必要があります。世界共通の定款により、世界すべてのインターアクトクラブが同じ目標に向かって結束できるようになります。クラブが定款の内容を確認したら、会員のさらなる指針となる細則を独自にカスタマイズできます。**推奨インターアクトクラブ細則**に目を通し、クラブのニーズに合わせて修正してください。細則では、設置する委員会、例会の頻度、会費など、クラブに適した慣習を定めることができます。

この章を読み進める際には、標準インターアクトクラブ定款と推奨インターアクトクラブ細則を適宜参照してください。この章で扱うトピックは、細則に含める内容を決めるのに役立ちます。



クラブのリーダー

インターアクトでは、青少年が主体となってクラブの活動を決めます。会員同士が協力して例会の議題作成やプロジェクト立案を行い、奉仕活動に取り組みます。クラブのリーダーとなれば、クラブの決定でさらに大きな役割を果たすことができます。また、リーダーを務めることで、グループ管理や交渉術、人間関係づくりなどのスキルを身につけるのにも役立ちます。

クラブの理事会は、クラブのリーダーとしての役割を担います。理事会は定期的に会合を開いてクラブの活動について話し合い、クラブの運営や活動に関する年次報告書を作成してアドバイザー、スポンサークラブ、地区インターアクト委員会に提出する責任があります。

理事はクラブの会員であり、細則で別段の定めがない限り、1年の任期で選出されます（クラブの選挙については、本章の後半で詳しく説明します）。理事会には、会長、副会長、会計、書記を含める必要があります。

以下は理事会の主な責務です。

会長

- 例会を監督し、進行する
- クリエイティブな例会プログラムを企画する
- 発表者、パネルディスカッション、その他の活動を手配する
- 理事会の承認を得て、常任委員会と特別委員会を任命する
- スポンサークラブ、アドバイザー、地区インターアクト委員会と定期的に連絡を取り合う
- クラブのDEI声明を推進する

副会長

- 会長が不在の場合、例会と理事会会合を進行する
- 会長の指示のもとで特別な任務を実行する
- クラブ委員会と協力し、委員会の活動状況を把握する

会計

- すべての資金を監督する
- クラブの財務委員長を務める
- 理事会の監督のもと、資金の支出を管理する

幹事

- クラブの全記録をつける
- 例会や奉仕プロジェクトの出欠を確認する
- 例会と理事会会合の議事録を記録する（「議事録」とは、例会・会合の要点や発言内容と発言者を記録したもの。このような議事録は、クラブでのタスク分担、活動、責任者、目標などを確認する上で役立ちます）。

役立つ情報

クラブ会長は、会員の関心や経験に基づき、必要に応じて仕事をほかの会員に委任することが奨励されています。例えば、環境問題に熱心な会員がいる場合、その会員が地元の専門家を招いたパネルディスカッションを企画することができます。仕事を委任することで、会員のやる気を引き出し、リーダーシップを発揮する機会を与えることができます。

各理事の役割が違っていても、理事会全員が協力することが大切です。このため、各理事が気持ちよく協力できる環境が重要となります。交流できる時間や活動は、理事同士がお互いを知る上で役立つでしょう（ゲーム大会、かくし芸大会、テーマを決めた夕食会など）。



クラブの会員は、お互いに知り合うためにどんなことができますか？



クラブの各委員会

委員会はプロジェクトを計画したり、クラブが目標を達成したりするための重要な役割を担っています。通常、インターアクトクラブでは次の委員会を設置します。

国際理解委員会：クラブ、学校、地域社会で国際理解を推進するために、毎年一つ以上の主要な活動を計画します。この活動には、ほぼ全員のクラブ会員が参加する必要があります。

奉仕委員会：学校または地域社会のためになる奉仕プロジェクトを1回以上実施します。この活動には、ほぼ全員のクラブ会員が参加する必要があります。

財務委員会：すべてのクラブ活動の財務計画を立てます。

クラブ委員会：出席状況を確認し、会員増強策を立て、クラブの最新情報を関係者に伝え、クラブの活動について多くの人に紹介します。

細則に記載されているように、クラブは委員会活動を率いる委員長を選出できます。各委員会活動の進展を理事会に報告し、例会で最新情報を伝えます。必要に応じて追加の委員会を任命できます。全委員会の責務をクラブ細則に詳しく記載し、各委員会は定期的に会合を開いて計画や活動について話し合います。

役立つ情報

地元のロータリー地区がインターアクトクラブのリーダー向けの研修を実施しているかどうかを確認してください。実施していない場合は、会長エレクト研修セミナー（PETS）など、地区の研修行事に参加できるかどうかを問い合わせてみましょう。PETSでは、ロータリークラブの次期会長が就任の準備をし、地区ガバナーエレクトと次期ガバナー補佐との協力関係を築きます。地区研修の機会については、アドバイザーに聞いてみることもできます（第7章で詳しく説明します）。ロータリーのラーニングセンターの**クラブリーダーシップ**でも、一部のコースを修了できます。



どのようなリーダーシップの役割に関心がありますか？

リーダーシップの役割を通じて、どのようなスキルを活用したり身につけたりしたいですか？



選挙

クラブは理事を選出し、必要であれば各委員会の委員長を毎年選出します。選出方法は、地元の習慣に合うように柔軟に決定できます。

選挙を実施するときは、次のことを留意してください。

- ▶ 候補者が指名を受け入れる必要があります（そうでない場合、選出されません）。
- ▶ 選出されるには、候補者が過半数の票を獲得する必要があります。
- ▶ 候補者は、優良な現会員である必要があります。
- ▶ 投票はすべて匿名で行います。
- ▶ 選挙手順をクラブ細則に記録するべきです。

以下は、選挙の実施方法の例です。

- ▶ オンラインフォームを用いて立候補を受け付け、候補者が各自の目標を記入するようにする。候補者の目標に基づいて、クラブの全会員が投票する。
- ▶ 理事として何を達成したいのかについて、各候補者がスピーチを行い、出席した会員が無記名で投票する。
- ▶ クラブのビジョンと目標を達成する方法について候補者が話した動画を作成し、会員がそれを見てオンラインで投票する。



選挙方法のアイデアを記入してください。



目標の設定

クラブのリーダーと委員会が決まったら、目標を設定しましょう。目標を毎年設定することで、クラブの方向性が決まり、目標達成に励むことができます。

目標設定の際には、[補遺2](#)「目標設定に役立つ質問」、[補遺3](#)「インターアクトクラブ対象のロータリー賞」、[補遺4](#)「クラブの具体的な目標」を参照してください。



クラブとしての目標をどのように設定しますか？

ロータリー賞（インターアクトクラブ対象）

国際ロータリーは毎年、クラブとロータリーの両方を強化する目標を達成したインターアクトクラブを表彰しています。ロータリー賞の受賞を目指すことで、クラブが年次目標を立て、その達成に向けて活動するために役立ちます。詳しくは、次の資料を参照してください。

- ロータリー賞の目標と達成方法に関する説明（インターアクトクラブ）（PDF）**：ロータリー賞の目標を確認した上で、クラブが目指す目標を設定しましょう。
- 推薦フォーム**：スポンサーロータリークラブ役員またはインターアクトクラブアドバイザーと協力して、8月15日までに推薦フォームに記入してください。



活動資金の調達

クラブが活動し、目標を達成するには、資金が必要となる場合があります。例えば、奉仕活動や例会に必要な備品、推進用資料などがあります（例：クラブのTシャツ）。クラブ会計の主導の下、資金を調達するための計画を立ててみましょう。資金調達の方法には以下のようなものがあります。

- 年会費**。クラブ細則に定められた管理費を賄うためにのみ、会員に最小限の会費を支払ってもらうこともできます。会費が必要かどうか、また、会費のために入会できなくなる人がいるかどうかを検討してください。
- スポンサークラブからのサポート**。スポンサーとなっているロータリークラブやローターアクトクラブに最小限の資金援助をお願いできるかもしれません。

- ▶ **募金活動。**クラブは、そのほかの方法で活動資金を募ることができます。募金活動を計画する際には、以下の点に留意しましょう。
 - クリエイティブになる。会員のスキル、才能、人脈を生かしましょう。
 - 詳細に計画を立てる。地元の人びとや企業・団体から資金を募る場合は、資金の活用目的と、活動がもたらすインパクトがどのようなものであるかを具体的に伝えます。
 - 新しいアイデアを取り入れる。スポンサークラブ、地域の非営利団体、地区内の別のインターアクト会員から募金のアイデアを出してもらうのもよいでしょう。



クラブの活動資金を調達するためにどのような方法を用いますか？

役立つ情報

クラブが実施できる募金の種類については、**青少年向け：奉仕学習ガイド**のオンラインコースで詳しくご覧いただけます。

銀行口座の開設方法やクラブ活動資金の管理方法については、アドバイザーやスポンサークラブにアドバイスを求めるとよいでしょう。



充実した例会の運営

例会は会員が集い、ニュースやお知らせをシェアし、奉仕活動やイベントを計画して楽しむための機会です。また、有識者や市民リーダーを招いて講演をしてもらう機会でもあります。

まず、例会を行う頻度と場所を決定しましょう。クラブ細則に例会の頻度を必ず記載してください。また、会員の出席をどのくらい重視するかも決める必要があります。会員が例会やプロジェクトを欠席できる回数、欠席した場合のメイクアップの方法などを決めることができます。

補遺5「例会の議題の見本」を参照してください。



新会員の入会

新会員の入会により、クラブが成長し、地域社会により大きなインパクトを与えることができます。クラブが用いる入会手続きを決める際には、以下のアイデアを参考にしてください。

- 全会員が入会候補者を推薦できるようにする。
- クラブへの入会申し込み方法を決める。
- ほかのインタラクティブクラブが移籍会員や元会員を推薦できるようにする。
- 入会が承認されたかどうかを、できるだけ早く入会候補者に伝えられるようにする。入会候補者の審査に必要な日数を、クラブ細則に記載する。
- 新会員の承認が公正、公平、インクルーシブに行われるよう、承認の基準を作成する。クラブのDEI声明にこの基準を反映させることができます。



新会員を引きつけ、入会を推奨するためにどのような方法を用いますか？

役立つ情報

例会と理事会会合には、少なくとも1名のスポンサークラブ会員が出席するべきです。アドバイザーと協力してスポンサークラブと連絡を取り、例会の場所と時間を知らせるようにします。

例会はオンライン（バーチャル形式）で行うこともできます。ただし、オンライン例会でも議題が必要であり、少なくとも1名のスポンサークラブ会員が出席するのが理想的です。オンライン例会の安全に関する留意点については、第3章を参照してください。



会員の参加促進

新会員のやる気を高める

新会員が入会したら、すぐにクラブ活動に参加してもらうことが大切です。そのためのヒントをご紹介します。

- **オリエンテーションを実施する。**クラブの主な活動や委員会への参加など、新会員が参加できるさまざまな活動を説明します。

- ▶ **新会員のアイデアを取り入れる。**どのような奉仕活動や親睦活動に関心があるかを尋ね、アイデアを提案してもらいます。
- ▶ **新会員にメンターをつける。**経験豊かな会員がメンターとなり、新会員がクラブに馴染み、活動に参加できるようにサポートします。

会員の積極性を維持する

会員を維持するための最良の方法は、継続的な参加です。そのためのアイデアを以下にご紹介します。

- ▶ 会員から定期的に意見や提案を集め、必要に応じて活動内容を調整する。
- ▶ 全会員が奉仕活動や親睦活動のアイデアを提案できるようにする。
- ▶ 今後の活動予定を全会員に伝える。
- ▶ 会員がお互いをよりよく知り合えるように、交流行事や親睦会を企画する。
- ▶ クラブでリーダーシップを発揮することを奨励する。

ロータリーでリーダーシップを発揮する機会

ロータリーでは、インターアクト以外にも若い世代の人たちが参加できるさまざまな機会があります。このような機会を紹介することで、会員がクラブやロータリーへの関心を持ち続けることができます。地区研修行事への参加を呼びかけ、**ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)**、**ロータリー青少年交換**など、ロータリーに参加できる機会を紹介しましょう。

役立つ情報



会員とどのように関わり、コミュニケーションを行いますか？

クラブを推進する方法については、第6章で詳しく説明します。

第5章

クラブでの体験を充実させる

インターアクトクラブを通じて、奉仕活動に参加し、国際理解を推進し、リーダーシップスキルを磨くことができます。インターアクトクラブは毎年、学校か地域社会に貢献する活動と、国際理解を推進する活動の二つ以上の活動を実施しますが、それ以上に大きなことを成し遂げられる可能性があります。会員は、楽しみながら関心のあるテーマに取り組み、社会に貢献することの意義を見出すことができます。この章では、クラブ活動の基本的なステップを説明し、充実した体験をしながらインパクトをもたらすためのアイデアを紹介します。



奉仕プロジェクト

効果的な奉仕プロジェクトには準備と計画が必要です。プロジェクトを成功に導くために、**奉仕学習**のアプローチを用いることが推奨されています。

奉仕学習には五つのステップがあります。

- **調査。** 調査や研究を通じて、地域社会の真のニーズとそのニーズを引き起こす要因を特定します。
- **計画と準備。** 調査に基づいて、明確な目標、時期・期限、役割、フォローアップ計画を立て、現実的で有意義な奉仕プロジェクトを計画します。
- **行動。** クラブは、直接的、間接的、またはアドボカシー活動に基づく奉仕を通じて計画を実施します。また、このステップを通じてプロジェクトとその影響に関するデータを収集します。
- **リフレクション (内省)。** 何が効果的だったか、または効果的でなかったかなど、学んだことを振り返ります。リフレクションは行動ステップの後だけでなく、奉仕学習のすべてのステップにおいて重要です。
- **デモンストレーション。** 学習した内容と地域社会にもたらした影響を、行動をサポートしてくれた人たちに示します。リフレクションの活動で得られた知見に基づき、提案事項を共有します。クラブの活動成果を紹介する方法については、第6章で詳しく説明します。

奉仕学習を始める

国際ロータリーは**National Youth Leadership Council (青少年による奉仕学習分野の専門団体)**と協力し、奉仕学習の各段階を通じてクラブとアドバイザーを支援するための一連のリソースを作成しました。**ロータリーのラーニングセンター**からアクセスできるオンラインコース「**青少年向け：奉仕学習ガイド**」を完了し、インタラクティブハンドブック「**奉仕学習のワークブック (青少年向け)**」を活用して奉仕プロジェクトを実施しましょう。このコースでは、地域社会調査の実施方法、パートナーの探し方、詳細なスケジュールと予算の作成方法を学びます。奉仕プロジェクト当日に使えるチェックリストなどのツールも用意されています。

ロータリーでは、アドバイザー専用のリソースもご用意しています。**アドバイザー向け奉仕学習**の学習プランで詳細を確認するよう、アドバイザーに勧めてください。

奉仕学習の初期のステップでは、特定したニーズに対してどのような種類の奉仕活動が最も効果的であるかを判断します。奉仕の種類には次のようなものがあります。

- ▶ **直接的な奉仕**：奉仕の恩恵を受ける人びとのために直接的な活動を行います。例えば、高齢者の歴史証言を文書に記録する、年下の生徒を指導する、自由に移動できない人たちに食事を提供するといった活動があります。
- ▶ **間接的な奉仕**：広場の清掃、恵まれない人びとのための募金、学校や図書館のための寄贈本の収集といった活動を支援します。
- ▶ **アドボカシー活動**：問題についての認識を高めます。例えば、ポリオ根絶について自治体からの支援を呼びかけたり、認識向上キャンペーンを実施したりできます。

奉仕プロジェクトのアイデアを探している場合は、以下を参考にすることができます。

- ▶ 以下の**ロータリーの活動分野**のいずれかをサポートする。
 - 平和の推進
 - 疾病との闘い
 - 水と衛生
 - 母子の健康
 - 教育の支援
 - 地域経済の成長
 - 環境の保護
- ▶ 世界中のインターアクトクラブによる、動画、写真、エッセイで紹介された画期的なプロジェクトを表彰する**インターアクト賞**の入賞作品を参照する。
- ▶ **ロータリーショーケース**で、インターアクト会員が実施した奉仕プロジェクトの情報を見る。「インターアクト」のキーワードで検索して活動を閲覧したり、自分たちの活動を掲載したりできます。

役立つ情報

ラーニングセンターを利用するには、**My ROTARY** のアカウントが必要です。16歳と17歳の方は、親か法的保護者の許可があればMy ROTARYアカウントを作成できます。16歳未満の方は、アドバイザーがMy ROTARYの資料を印刷して渡すことができます。



どのような奉仕プロジェクトに関心がありますか？



国際理解の推進

ロータリーは、国際理解、親善、平和を推進する世界的なネットワークです。インターアクターであるあなたもこのネットワークの一員であり、世界中の若者とつながることができます。ロータリーの世界的ネットワークを生かして国際理解を推進し、異文化を学ぶ方法をいくつかご紹介します。

- ▶ **双子クラブを探す。**他国のインターアクトクラブと長期的なパートナーシップを築くことができます。国際理解の活動や奉仕プロジェクトで協力し、相手の国やクラブについて学ぶためにオンライン会議を開くことができます。互いに意思疎通できる言語を話す会員がいるクラブを見つけてみましょう。アドバイザーかスポンサークラブに、海外のインターアクトクラブを紹介するようお願いしてみることもできます。
- ▶ **平和を推進する。**ロータリーの活動分野の一つである「平和の推進」を通じて、国際理解を深めることができます。スポンサークラブと協力し、異文化への理解を深めるための対話や協力の機会を見つけてみましょう。My ROTARYの**生活の中で平和構築を実践する10の方法**も参考にしてください。
- ▶ **ロータリーの世界的ネットワークを活用する。****ロータリー行動グループ**と**ロータリー親睦活動グループ**について学び、これらのグループと協力できる方法を考えてみましょう。
- ▶ **ロータリーの交換プログラムについて会員に紹介する。**会員はロータリーを通じてオンラインや対面での交換に参加できます。**ロータリー青少年交換**で海外の学生を受け入れたり、自分が交換学生として留学したりできるほか、**新世代交換**と**ロータリー友情交換**などインターアクト卒業後に参加できるプログラムもあります。



リーダーシップスキルの向上

インターアクターには生涯役立つリーダーシップスキルを身につける機会がたくさんあります。奉仕プロジェクトを実施してリーダーシップを発揮すれば、人間関係づくり、問題解決、グループとして意思決定といったスキルを学ぶことができます。

また、ほかの会員のリーダーシップ力向上をサポートすることで、自分のスキルがさらに磨かれるだけでなく、クラブの会員増強にもつながります。リーダーシップ力の向上について取り上げた例会を開いてみましょう。そのためのアイデアを以下にご紹介します。

スキル

<p>リーダーシップ理論</p>	<p>さまざまなリーダーシップ理論の主な概念を学びます。</p> <p>ワークシート、アンケート、グループ演習を用いて、各会員のリーダーシップスタイルを確認します。</p>
<p>コミュニケーションスキル</p>	<p>会員が交代でグループ演習のリーダーを務めます。</p> <p>スピーチコンテストを実施し、自由なトピックについて各会員がスピーチして仲間から建設的なコメントを寄せてもらうことができます。</p>
<p>協力</p>	<p>さまざまな視点や考え方を認め、尊重することの大切さを強調した上で、</p> <p>ほかの人との協力なしには成功できない課題に取り組みます。</p>
<p>倫理的リーダーシップ</p>	<p>倫理的リーダーシップの要素について学習します（敬意、奉仕、コミュニティ、正義、誠実さなど）。</p> <p>倫理的リーダーシップがなぜ大切なのかを考え、各会員に自分自身の倫理規定を作ってもらいます。</p>



あなたがリーダーとしてすでに備えているのはどのようなスキルですか？インターアクトで身につけたいリーダーシップのスキルは何ですか？

役立つ情報

クラブで有意義な体験をするために、**ロータリー賞**（インターアクトクラブ対象）の目標を確認してください。アイデアを生み出したり、クラブの方向性を定めたりする助けとなります。

第6章

クラブの広報

インターアクターは社会に貢献するために懸命に取り組んでいます。クラブの活動とそのインパクトを広く伝えることで、同年代の人びとが参加を希望するようになります。この章では、ロータリーのリソースとクラブの広報方法について説明します。



公共イメージとブランド構築

「公共イメージ」とは、ロータリー外で広く一般に認知されているイメージのことです。1世紀以上にわたって築かれてきたロータリーのブランドを生かすことで、インターアクトクラブへの注目を集めることができます。ロータリーやクラブの活動についてよく知らない人もいるため、ロゴなどのブランド要素を適切に活用することが重要となります。クラブの推進用資料を作成するときは、ブランドのガイドラインに沿っていることを確認してください。これらのリソースは、[ブランドリソースセンター](#)から見るすることができます。

- ▶ **ガイドライン**: ロータリーのメッセージ作成とビジュアルのガイドラインを使用して、わかりやすく効果的なコミュニケーション資料を作成しましょう。
- ▶ **ロゴのテンプレート**: テンプレートを利用してクラブ名入りロゴを作成し、ロータリーとのつながりがはっきりとわかるようにしましょう。
- ▶ **推進用資料**: 推進カード、ポスター、バナー、ニュースリリースをカスタマイズできます。
- ▶ **写真と動画**: 高画質の写真や動画を見つけ、ウェブサイトやソーシャルメディアのアカウントで情報発信したり、交流イベント中に紹介したりするのに役立てましょう。

インターアクトロゴの使用

クラブ活動を広報する際には、インターアクトのロゴにクラブ名を入れて使用することが重要です。このロゴのシステムにより、あらゆるコミュニケーションで人びとがクラブ名を認識できるようになります。[ブランドリソースセンター](#)のテンプレートを活用してクラブ名入りロゴを作成できます。以下はその例です。





クラブがもたらしているインパクトを伝える

広報用資料を作成したら、クラブがもたらしているインパクトをアピールしましょう。クラブの活動を紹介することで、クラブの公共イメージが向上し、入会候補者や支援者の関心を集めることができます。そのためのアイデアを以下にご紹介します。

手段／ツール

<p>行事</p>	<p>文化祭や美術展、音楽演奏会などのイベントを利用して、クラブの活動成果を紹介しましょう。今後の奉仕活動や募金への協力を呼びかけることもできます。</p>
<p>ウェブサイトやブログ</p>	<p>クラブの奉仕プロジェクトをオンラインで紹介することもできます。例えば、クラブのウェブサイトを作成して活動の最新情報を掲載し、今後の活動に参加できる方法をサイトの訪問者にわかりやすく伝えます。</p>
<p>プレゼンテーション</p>	<p>プレゼンテーションを行い、同じ関心や目標を持つ人たちにアピールしましょう。地区大会やその他の行事で、ロータリー、ローターアクト、インターアクトクラブに向けて話をすることを検討してみましょう。</p>
<p>地元メディア</p>	<p>クラブの奉仕プロジェクトへの関心を集めるために、テレビ局やラジオ局、新聞社にプレスリリースを送信することから始めましょう。</p>
<p>ソーシャルメディア</p>	<p>クラブの取り組みを紹介する最良の方法の一つが、ソーシャルメディアです。奉仕プロジェクトについて投稿してみましょう。また、スポンサーであるロータリークラブやローターアクトクラブに、プロジェクトをロータリーショーケースに掲載してもらうこともできます。</p>
<p>地域社会のリーダー</p>	<p>プロジェクトの目的や必要なサポートについて、地元のリーダーに手紙を書くか、会合を設けて話し合みましょう。</p>
<p>インターアクト賞</p>	<p>クラブのプロジェクトを動画、写真、エッセイで表現し、国際ロータリーのインターアクト賞に応募しましょう。</p>



クラブやプロジェクトをどのように推進しますか？



新会員を募る

効果的な広報を行うことで、多様な入会候補者の関心を引くことができます。以下は入会者を募る方法の例です。

学校を基盤とするクラブ

学校のリーダーと連絡を取り、クラブの情報を共有する。

学校の周辺、特に生徒が集まる場所にクラブの資料を掲示する。

学生集会や部活フェアなどの学校行事を利用してクラブについて伝える。

アドバイザーと協力してクラブのソーシャルメディアアカウントを作成し、クラブの情報をシェアする。

地域社会を基盤とするクラブ

学校や青少年団体に連絡し、クラブの情報を共有する。

地区インターアクト委員長などの地区リーダーと協力して、地区でクラブの活動を紹介する。

ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA) とロータリー青少年交換の元参加者に、インターアクト入会に関心があるかどうかを尋ねる。

アドバイザーと協力してクラブのソーシャルメディアアカウントを作成し、クラブの情報をシェアする。



どのような方法でクラブの入会候補者に連絡し、入会を勧めますか？

第7章

ロータリーからの支援

インターアクターであるあなたは、ロータリーファミリーの一員です。つまり、ロータリーのクラブや地区、国際ロータリーがあなたを支えています。この章では、ロータリーの仕組み、サポートしてくれる人やリソース、クラブや地区を越えてほかのインターアクト会員とつながる機会について説明します。



アドバイザー

インターアクトクラブのアドバイザーは、クラブを監督、指導、サポートします。アドバイザーはスポンサークラブ（下記参照）が任命します。スポンサーである**ロータリークラブ**または**ローターアクトクラブ**の会員か、スポンサークラブが審査し選んだ成人（会員ではない人）、または学校を基盤とするインターアクトクラブの場合は学校の教員や管理者がアドバイザーとなることができます。

理想的なアドバイザーは、以下のような人です。

- ▶ インターアクトとクラブの活動についてよく知っている
- ▶ 若い世代の人たちと一緒に活動した経験がある
- ▶ 若い世代の人たちを後押しする能力がある
- ▶ 奉仕への情熱をもち、地域社会に変化をもたらしたいと願っている

アドバイザー候補者は、正式なアドバイザーとなる前に審査を受け、精査され、ロータリーの青少年保護方針を守る方法についての研修を受ける必要があります。



スポンサークラブ

インターアクトクラブの効果的な運営には、スポンサークラブ（「提唱クラブ」とも呼ばれます）からの指導と支援、積極的な参加が不可欠です。

約200の国と地域に36,000以上のロータリークラブ、10,000以上のローターアクトクラブがあります。これらのクラブは、人びとを結びつけ、地域社会や世界、また自分自身に持続的な変化をもたらすために活動しています。

スポンサーとなるロータリークラブとローターアクトクラブは、インターアクト会員、役員、委員長の研修を援助します。また、地区、多地区合同、国際レベルの研修への参加をインターアクト会員に奨励します。また、スポンサークラブが任命したメンターが、インターアクト会員に例会への出席を促したり、奉仕プロジェクトや行事への参加を呼びかけることが期待されています。

役立つ情報

ローターアクトクラブでは、18歳以上の人がリーダーシップと社会人としてのスキルを育み、地域社会のリーダーとアイデアを交換し、楽しみながら奉仕活動を行っています。

インターアクトクラブが複数のアドバイザーをもつことができますが、国際ロータリーに正式に報告されるのは一人だけです。クラブが正規に活動中であることを示すため、**毎年アドバイザーを報告**する必要があります。

スポンサーとなるロータリークラブが少なくとも1クラブ必要であり、そのほかに共同スポンサークラブを最大3クラブまで選ぶことができます。ロータリークラブまたはローターアクトクラブが共同スポンサークラブとなることもできます。また、これらのクラブは複数のインターアクトクラブのスポンサークラブを兼任できます。



スポンサークラブとどのように協力していきたいですか？

スポンサークラブとの強いパートナーシップを築くには努力が必要ですが、スポンサークラブに活動に参加してもらい、良好な関係を維持することで、新しいつながりや機会が生まれます。また、スポンサークラブがインターアクトの会員や活動についてよく知っていれば、支援をお願いしやすくなるでしょう。アドバイザーやクラブ会長にスポンサークラブとの連絡役になってもらうか、そのための役割を別に設けることができます。連絡役は、例会、親睦活動、奉仕プロジェクトなどの情報をスポンサークラブに伝え、参加を促します。

スポンサークラブとの強力なパートナーシップを育むためのヒントをいくつかご紹介します。

- ▶ 双方のクラブの行事予定表を交換する。スポンサークラブの活動への参加をインターアクト会員に促し、スポンサークラブにもインターアクトクラブの活動に参加してもらう。
- ▶ 数名のインターアクト会員がスポンサークラブの例会に出席し、クラブの活動について最新情報を報告する。
- ▶ インターアクトの各委員会の代表者に、スポンサークラブの委員会との連携を促す（例えば、奉仕委員会の委員がスポンサークラブの奉仕委員会に出席する）。
- ▶ インターアクトクラブとスポンサークラブの間でメンタープログラムを開始する。

役立つ情報

スポンサークラブと協力関係を築くには、クラブリーダーの後継者育成計画を立て、次年度に向けて準備する必要があります。就任までに十分な余裕を持ってクラブ会長を選出し、スポンサークラブの次期会長と会って重要な情報や資料を共有するよう促しましょう。



地区からのサポート

ロータリーのクラブは500以上の地区に分かれています。地区リーダーには、ガバナー（下記参照）と地区委員会があり、地区内のクラブとプログラムの強化と支援にあたっています。

地区インターアクト委員会

地区インターアクト委員会は、地区内のインターアクトのあらゆる活動を監督します。インターアクトクラブを強化し、地区全体でインターアクトの発展と広報に努め、ロータリーの青少年保護方針が守られるよう研修と支援を行う責任を担っています。また、インターアクトクラブ同士を結びつけ、インターアクトとロータリーのつながりを強化します。インターアクト委員会の委員となれるのは、ロータリー会員、ローターアクト会員、インターアクトクラブ会員です。

地区インターアクト委員長は、インターアクト委員会を監督します。地区ガバナーがロータリー会員またはローターアクト会員の中から委員長を任命します。委員長は、地区のインターアクトプログラムを管理し、毎年すべてのクラブが国際ロータリーに連絡先情報を提出するよう確認します。

地区インターアクト代表を務めるインターアクターは、地区インターアクト委員会の共同委員長を務めることができます。この代表は、地区内のインターアクトクラブの全会員によって選出され、インターアクトクラブに指針とインスピレーションを与えます。

その他の地区の役職

クラブは、次のようなほかの地区リーダーから支援を得ることができます。

地区ガバナー。ガバナーは地区内のすべてのプログラムと活動を支援します。新しいインターアクトクラブとスポンサークラブを承認するほか、地区インターアクト委員長とそのほかのリーダーを任命します。

地区青少年保護役員。ロータリーの青少年保護に関する方針と手続きについて助言します。

地区学友委員長。学友委員長はインターアクトクラブ会員のローターアクトへの移行をサポートし、ロータリーでのほかの機会を学友に紹介します。

地区を越えて

ロータリーの多地区合同レベル、ゾーンレベル、国際レベルで、インターアクト会員のためのさらなるサポートと機会を見つけることができます。

多地区合同

多地区合同の行事、研修、奉仕プロジェクトなど、地区同士が協力して取り組む機会は数多くあります。こうした機会に、幅広いインターアクト会員のグループが新しい友人を作り、互いに学び合うことができます。こうした行事に興味がある場合は、地区インターアクト委員長に連絡して、行事の予定を聞いたり、行事を企画したりできるでしょう。多地区合同の行事を行うには、必ず参加地区のガバナーの同意が必要です。

役立つ情報

インターアクト委員会の役割と責務については、「**就任の準備：地区インターアクト委員会**」コース（**ロータリーのラーニングセンター**）で詳細をご覧ください。

◆ ゾーン

ロータリーの地区は、世界各地の30以上のゾーンに分けられています。各ゾーンは地域リーダーと理事から成るチームによって監督されています。ゾーンの会議、研修会、そのほかの行事にインターアクト会員が招かれることもあります。

◆ 国際ロータリーのスタッフ

ロータリーの会員とプログラムは、6カ所の国際事務局と米国イリノイ州エバンストンの世界本部で働く数百名の国際的スタッフが支えています。若いリーダーのためのプログラムを担当するスタッフは、新クラブの認定、クラブと地区リーダーへの最新情報の提供、インターアクト賞や世界インターアクト週間などの計画、クラブ用の参考資料の作成などを通して、インターアクトをサポートしています。ご質問がある場合は、interact@rotary.orgまたは**日本事務局**までお問い合わせください。



地区やゾーンから受けられるインターアクトクラブへの支援にはどのようなものがありますか？

第8章

インターアクトを超えて

ロータリーは、インターアクトにとどまらず、さまざまな方法で若いリーダーを支援しており、あらゆる年齢の若者を応援するさまざまなプログラムがあります。青少年向けの機会についての詳細は、地区リーダーにお問い合わせください。

ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)：RYLAは14歳～30歳の若者を対象とした集中的なリーダーシップ育成プログラムです。クラブ、地区、または多地区合同による主催の下、地域社会に参画し、人間的・職業的に成長し、新しいスキルを学ぶことができます。RYLAとそのインパクトについては、**RYLAの事例**をご覧ください。

ロータリー青少年交換：ロータリー青少年交換では15歳～19歳の学生が外国語を学び、異文化を発見し、平和の親善大使とすることができます。ロータリークラブが学生を派遣し、短期交換か長期交換のいずれかを選択できます。ロータリー青少年交換の詳細については、ロータリーのブログ（ロータリーボイス）で**交換学生と学友の体験談**をご覧ください。

インターアクト卒業後

インターアクトを卒業後も、ロータリーには人生のあらゆる段階で参加できる機会があります。インターアクトを卒業したら、次のような機会を見つけてロータリーに参加できます。

学友グループ：元インターアクターは、ロータリーの学友ネットワークの一員となり、世界中で奉仕活動に携わる仲間たちとつながることができます。

ロータリー平和フェロースHIP：平和と開発分野で仕事をした経験のあるリーダーを対象とし、ロータリー平和センターで学ぶためのフェロースHIP（奨学金）を提供します。フェロースHIPは、社会奉仕と国際奉仕、平和の構築に取り組んでいます。

新世代交換：新世代交換は、人道的活動や職業スキルに焦点を当てた短期間のカスタマイズ可能な国際交流プログラムで、30歳までの大学生や社会人を対象としています。

ロータリー行動グループ：ロータリー行動グループは、経済開発、平和、薬物乱用防止、環境、水など、世界各地の特定分野のエキスパートから成る独立したロータリー関連グループです。

ロータリー地域社会共同隊 (RCC)：ロータリー地域社会共同隊は、奉仕プロジェクトを通じて世界を変えるというロータリーの取り組みをともに担う、ロータリー会員以外によるボランティアのグループです。ロータリークラブがスポンサーとなり、ロータリーのネットワークとメンターシップを通じて、協力して奉仕プロジェクトを計画、実施します。現在、世界で11,000以上のRCCが活動しています。

ロータリー友情交換：ロータリー友情交換は、ロータリー会員とその友人のための国際交流プログラムで、参加者が互いの自宅やクラブでホストを務めます。参加者は個人、夫婦、家族、グループで旅行でき、ロータリー会員であるかどうかは問いません。

役立つ情報

インターアクトクラブを通じて、地区のRYLAやロータリー青少年交換プログラムと協力できます。例会に学友を招待して体験談を話してもらったり、一緒に奉仕活動や交流会を計画したりしましょう。

ロータリークラブまたはローターアクトクラブ：あなたもいずれ、ローターアクトクラブやロータリークラブに入会し、新しい友人を作り、地域社会での奉仕を続け、リーダーシップのスキルをさらに磨くことができます。自分の希望に合ったクラブを見つけるには、地区リーダーに相談してください。



ロータリーのほかのプログラムで興味があるものは何ですか？

第9章

ロータリーのリソース



オンラインツール

- ▶ **ブランドリソースセンター**: クラブ名入りのインターアクト・ロゴを作成し、推進用資料やクラブTシャツなどに使用できます。
- ▶ **ロータリーショーケース**: 活動のアイデアを見つけるために、実施された奉仕プロジェクトの情報を見ることができます。また、スポンサークラブに頼んでクラブのプロジェクトの情報を掲載してもらうことができます。
- ▶ **インターアクトのFacebookページ**: インターアクトクラブの仲間や、インターアクトを支援するロータリー会員と交流できます。
- ▶ **ロータリーのラーニングセンター**
 - **奉仕学習のリソース**: 青少年主導の奉仕プロジェクトを企画するための参加型コースとワークブックをご用意しています。
 - **青少年プログラム参加者の保護**: 虐待やハラスメントへの理解、認識、対処、防止のため、アドバイザー、スポンサークラブ、その他のリーダーにこの資料を紹介しましょう。



メモ

そのほかのリソース

- ▶ [インターアクトクラブ認定フォーム \(PDF\)](#)
- ▶ [標準インターアクトクラブ定款 \(PDF\)](#)
- ▶ [推奨インターアクトクラブ細則 \(DOC\)](#)
- ▶ [インターアクトクラブ情報の更新方法 \(PDF\)](#)
- ▶ [インターアクトIDカード \(PDF\)](#)
- ▶ 「[Young Leaders in Action \(活動する若きリーダーたち\)](#)」ニュースレター (英語のみ)：インターアクトを含むロータリーの若いリーダー向けプログラムについての月間Eニュースレター。
- ▶ [ロータリーの活動分野](#)：ロータリーの理念と、その推進に向けた活動について詳細をご覧ください。
- ▶ [青少年向けプログラムのページ](#)：若いリーダーを対象としたそのほかのロータリーのプログラムをご覧ください。
- ▶ [ロータリー章典](#)：インターアクトやそのほかの若いリーダー向けプログラムに関する情報など、組織のためにRI理事会が制定した方針と手続き。



メモ

補遺1：クラブ認定証伝達式の例

インターアクトクラブの設立と認定証伝達式についての詳細は、[第2章](#)をご覧ください。

クリエイティブな方法で新クラブの認定をお祝いしましょう。クラブの個性や地域社会の特徴を反映した式典を企画してください。新クラブの認定証伝達式の計画を立てる際には、ここにある情報と以下の表を活用できます。

招待

スポンサークラブや地区リーダーに、式典での司会や出席をお願いすることもできます。

- ▶ 地区ガバナー
- ▶ 地区インターアクト委員長
- ▶ 地区インターアクト代表

また、クラブ会員の家族、学校の先生や職員（学校基盤のクラブの場合）、地域社会のリーダーを招待することもできます。

式典のアイデア

ロータリーの歴史を紹介する。ロータリーの創設、最初のインターアクトクラブの設立、ロータリーとインターアクトの使命など、ロータリーとインターアクトの歴史を簡単に紹介することができます。

ロータリーファミリーの国際性に光を当てる。インターアクトクラブへの入会者は、国際社会の一員になることを強調します。ロータリーと**インターアクト**の現在の会員数を紹介しましょう。

会員を紹介する。新会員の名前を一人ずつ紹介し、全員にピンバッジや会員カードなどのちょっとした記念品を贈ることを考えてみましょう。

クラブ理事会を紹介する。理事を紹介し、役割を簡単に説明します。会長やほかの役員に次年度の目標について簡単に話してもらおうのもよいでしょう。

写真撮影

式典の最後に集合写真を撮りましょう！

補遺2：目標設定に役立つ質問

目標設定についての詳細は、[第4章](#)をご覧ください。

目標を毎年設定することで、クラブの活動や行事を計画しやすくなり、クラブの積極性と活動力を維持できます。全会員で協力して以下の質問について考え、年間を通じて活動状況を確認しましょう。

新クラブ

<p>どのような特徴をもつクラブにしたいか。</p>	
<p>何を「成功」とみなすか。</p>	
<p>DEIを推進するために何をするか。</p>	

既存のクラブ

<p>現在の目標の達成状況はどうか（例を挙げて説明）。うまくいったことは何か。</p>	
<p>達成していない目標は何か。それはなぜか。うまくいっていないことは何か。</p>	
<p>クラブの強みは何か。その強みをどのように生かせるか。</p>	
<p>会員の意見を集め、全員がにクラブで充実した体験をできるようにするには、どうしたらよいか。</p>	

補遺3：インターアクトクラブ対象のロータリー賞

目標設定についての詳細は、[第4章](#)をご覧ください。

クラブの目標を設定する際には、[インターアクトクラブのロータリー賞](#)に挙げられた目標を参考にしましょう。

この賞は、より大きなインパクトをもたらし、参加者の基盤を広げ、参加者の積極的な関わりを促し、適応力を高めているクラブに授与されます。

説明：

次の20の目標のうち、11以上を選択してください。クラブにとって最も重要で、達成可能であると思われる目標を選ぶことができます。ロータリー年度（7月1日～6月30日）全体を通して目標を達成すると、クラブに賞が贈られます。スポンサークラブの役員とアドバイザーは、推薦書を作成する際にこのワークシートを参照できます。

ロータリー賞を受賞するには：

- 目標の詳細を確認する。
- アドバイザーの指導の下、少なくとも11の目標を選ぶ。
- 達成したい目標を選び、「目標の設定」の欄に印をつける。
- クラブが目標を達成したら、「達成した目標」の列に記入する。
- スポンサークラブの役員とアドバイザーは、年間を通じてこのワークシートを参照し、クラブが目標達成に向けて進んでいることを確認する。
- スポンサーロータリークラブの役員またはアドバイザーと協力し、8月15日までに[推薦書を提出](#)する。書式の記入にあたっては、このワークシートを参照する。

ロータリー賞

ロータリー賞 のカテゴリー	目標の詳細	目標の設定	達成した目標
クラブの会員数	ロータリー年度末までに達成したいクラブ会員総数。		
奉仕活動への参加	本ロータリー年度にクラブの奉仕活動に参加する会員の数。		
ロータリー行動グループとの関わり	本ロータリー年度中、クラブ会員はロータリー行動グループについてより詳しく学び、奉仕プロジェクトのためのインスピレーションを得る機会を持つ。		
リーダーシップ育成への参加	会員のスキルを伸ばすため、__回のリーダーシップ育成プログラムを実施する。		

ロータリー賞 のカテゴリー	目標の詳細	目標の設定	達成した目標
地区大会への参加	地区大会に__名の会員が出席する。		
ロータリー親睦活動との関わり	本ロータリー年度、クラブ会員はロータリー親睦活動を通じた機会についてより多くを学ぶ。		
地区研修への参加	クラブ会員は地区研修に参加する予定がある。		
ラーニングセンターの利用	クラブのアドバイザーまたは会員が、ロータリーのラーニングセンターにある奉仕学習のコースを修了する予定がある。		
年次基金への寄付	本ロータリー年度中、ロータリーの年次基金への募金方法や認識向上のための方法を考え、実行する。		
ポリオプラス基金への寄付	本ロータリー年度中、ロータリーのポリオ根絶活動のための募金または認識向上のために、__件の活動を行う。		
奉仕プロジェクト	ロータリーの重点分野のいずれかに関する重要な奉仕プロジェクトに、スポンサークラブまたはアドバイザーと協力して取り組む。		
RYLAへの参加	ロータリー青少年指導者養成プログラムに__名のクラブ会員の参加を予定している。		

ロータリー賞 のカテゴリー	目標の詳細	目標の設定	達成した目標
若いリーダーの ためのプログラ ム	若いリーダーのためのロータリープログラム（RYLA、ロータリー青少年交換など）を会員に紹介するための会合を開く。		
学友の参加	スポンサーロータリークラブと協力して、卒業するインターアクト会員にロータリークラブ（大学基盤または地域社会基盤のどちらか）を紹介する。		
クラブ戦略計画	戦略計画に従って活動し、戦略計画が現在の優先事項を反映していない場合は更新する。		
ウェブサイトとソ ーシャルメディア の更新	本ロータリー年度、クラブのウェブサイトまたはソーシャルメディアのページを月__回更新する。		
クラブのプロジ ェクトに関する メディア掲載	世界インターアクト週間に行う活動についてソーシャルメディアで情報発信する。		
ブランドリソース センターの利用	ブランドリソースセンターのテンプレートを使って、クラブ名入りのインターアクトロゴと資料を使用する。		
ロータリー作成 の公式推進用 資料の使用	国際ロータリー作成のメッセージや公共奉仕広報資料（推進用動画、印刷広告、ブランドリソースセンターのその他の資料など）を活用して、地域社会でインターアクトを広報する。		
クラブの広報	毎年のインターアクト賞に参加する。		

補遺4：クラブの具体的な目標

ロータリー賞の目標を確認したら、そのほかのクラブ目標を設定することもできます。

1. 「目標」と書かれた列に具体的な目標を記入します。
2. 「備考」の下に、各目標を達成するためにクラブがどのような計画を立てているかを記入します。活動状況の記録を担当する委員会、必要な資金やリソース、期日などの詳細を記入してください。
3. クラブが目標を達成したら、「目標を達成」の欄に印をつけます。

目標	備考	目標を達成

補遺5：例会の議題の見本

充実した例会を行うには、議題が明確で整理されていることが重要です。以下は例会の流れの例です。

議題項目

<p>1.開始宣言、議題の紹介。例会で議論すること、達成すべきことをリストアップして会員に示します。</p>	
<p>2.ゲスト講演者や新会員の紹介。ゲスト講演者や新会員の名前と情報を紹介できるよう、準備しておきます。</p>	
<p>3.会員同士の交流。例会の最初に楽しいアクティビティを盛り込みます。</p>	
<p>4.お知らせ。例会で伝え忘れないよう、重要なお知らせや注意事項をリストアップしておきます。</p>	

議題項目

5.理事会と委員会の最新情報。理事会と委員会がレポートや最新情報を発表します。

6.オープンフォーラム。会員が質問したり、クラブの運営や活動について話し合ったりする時間を設けます。理事会でフォローアップが必要な質問や項目があればメモしておきます。

7.閉会。例会を締めくくる言葉を記入しましょう。



One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
Rotary.org

JA—(1022)